



■華洛一覽圖(1808年)〈北山部分に山名、寺社名等を記入〉



左大文字山と金閣寺

双ヶ丘古墳跡

仁和寺と大内山

龍安寺と衣笠山

衣笠・御室地域には、古くから人が住み着き、双ヶ丘をはじめ数ヵ所に古墳跡が見られます。平安時代の初めに仁和寺が、続いて四円寺(円融寺・円教寺・円宗寺・円乗寺)が建立され、この地域の森には、こうした寺院と関わりの深かった宇多天皇や一条天皇、堀河天皇などの御陵があります。

四円寺の廃絶後、室町時代になると、鹿苑寺(金閣寺)、龍安寺、等持院が建てられ、寺院が所有する森林が増えていきます。また、江戸時代の半ば頃、左大文字の送り火が始まり、幕末には御室八十八カ所が開かれました。

明治維新後の上知令により、社寺林や御料林の国有林化が進められ、現在、寺有林に挟まれる形で、一部が衣笠山国有林と住吉山国有林になっています。

近世までは、燃料や肥料の材料を採取する里山林として、地域の人々に利用され、はげ山か樹木のまばらな状態でしたが、戦後の燃料革命以降、尾根筋にはアカマツや、コナラなどの落葉広葉樹が、山裾には本来の植生であるシヤカシといった常緑広葉樹が生育するようになり、また、谷筋にはスギ・ヒノキの植林が行われました。

こうして、植生が回復した現在は、公益林として、京都の景観や災害防止に大きな役割を果たしています。

森林観察では、衣笠山に生育する植物の特徴などについて学習します



3年生

衣笠山で拾ってきた落ち葉を色鉛筆で紙にこすり出します。葉脈がくっきり



3年生

間伐材の板に鳥の絵を描き、巣箱の表札をつくります



3年生



4年生

野生動物の生態や被害について学習した後、衣笠山のけもの道を探索します

京都森林インストラクター会では、衣笠山国有林(遊々の森)をフィールドとして、金閣小の3~5年生を対象に、毎年数回森林教室を行っています。学年ごとに、森林観察や巣箱かけ、けもの道探検、キノコの菌打ちなどを実施し、京都大阪森林管理事務所や金閣小の先生方と協力して、子供たちが衣笠山の豊かな森の中で、楽しみながら学習できるように取り組んでいます。



3年生

表札を釘で打ち付けた巣箱を衣笠山にかけます。入りやすように!



5年生

ほだ木にドリルで穴をあけ、シタケとナメコの菌を打ち込みます



5年生

菌打ちしたほだ木を衣笠山に伏せ込みます。早く出ないかな



5年生

人と森との関わりや林業について学習した後、衣笠山の人工林を見学します



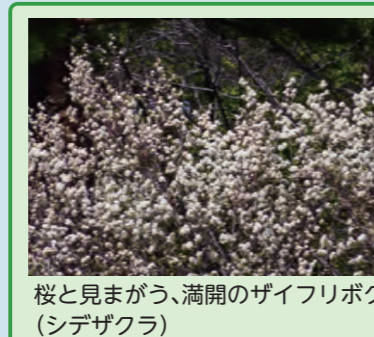
京都在住の森林インストラクターを中心に組織する団体で、1998年に発足しました。京都府内において、府民や子供たちを対象に、森林観察や林業体験、ネイチャーゲームなど、森林の大切さや楽しみ方を伝えるための活動を行っています。

Kyoto Forest Instructors Association
http://www.kfianet.com

■森林インストラクターとは・・・

森林を利用する一般の人に対し、森林や林業に関する適切な知識を伝えるとともに、森林の案内や森林内での野外活動の指導を行うため、1991年に農林水産省が創設した資格。

(現在は一般社団法人全国森林レクリエーション協会が認定)



桜と見まがう、満開のザイフリボク(シデザクラ)



林床にひっそりと咲くヤマツツジ



長い柄の先に垂れる姿が可愛いソヨゴの実



ガクがねばつくモチツツジ



新緑の中でさえずるキビタキのオス



巣箱を利用するシジュウカラ



倒木を渡るリス



春の森を彩るコバノミツバツツジ



ヤマザクラに遅れて咲くカスミザクラ



蕾が杏仁に似た匂いのウワミスザクラ



生レバーそっくりのカンゾウタケ



ヒダから「お乳」を出すチチタケ



胞子を噴出、ホコリタケ



イノシシのお尻



おわん型の帽子(殻斗)を被ったアベマキのドングリ



リースに最適、サルトリイバラのツルと実



種がアンモナイトそっくりのアオツツラフジの実



冬虫夏草の一種、セミから生えるオオセミタケ



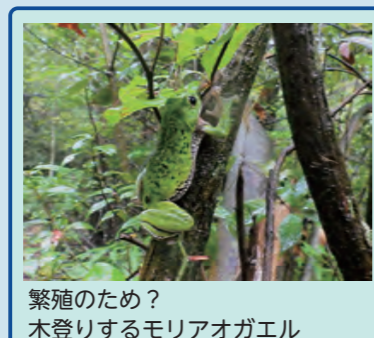
「双子」のキノコ(イグチの仲間)



カキの実に似たキノコ、ツチガキの仲間



立派な角を持つオスジカ



繁殖のため? 木登りするモリアオガエル



動物の糞が大好物のセンチコガネ



泥まみれのニイニゼミの抜け殻

衣笠・御室の森で見られる動植物

衣笠・御室の山々は、市街地に近く標高は低いものの、ゆっくり散策すると、様々な動植物に出会えます。春にはツツジやサクラ類が咲き誇り、野鳥のさえずりにもぎやかです。夏にかけてはセミやチョウ、トンボなどの昆虫類が、秋になると木の実やキノコ、樹木の紅(黄)葉が見られます。冬、雪が積もれば、けものたちの足跡を見ることも。衣笠・御室の森は、身近にあって、気軽に自然が楽しめる散策フィールドです。

森林散策を楽しむために(フィールドマナー)

- 動植物・鉱物は、取らずにそっと観察しましょう。
- ハチ・マムシなどの危険な生き物や、イノシシ・サルに出会ったときは、刺激しないよう静かに離れましょう。
- 松枯れ・ナラ枯れの倒木、落枝に注意しましょう。
- たばこのポイ捨ては厳禁。ゴミは必ず持ち帰りましょう。

服装について

- 上は長袖が基本。汗は休んだ時に体を冷やすので、下着には吸汗速乾性のあるポリエステル製のTシャツがオススメ。
- 下は長ズボンが基本。伸縮性、吸汗速乾性のあるものを選ぶ。
- 靴はトレッキングシューズがベスト。小さな水たまりやぬかるみを気にせず歩ける防水性のものがよい。
- カッパは透湿性があり、上下セパレートタイプ(上着とズボンが別々)のものを選ぶ。

あれば役立つ持ち物

- 菓子類(万が一の際の食料)、コンパス、地図、ヘッドライト、救急セット、折りたたみ傘、レジャーシート、タオル、手ぬぐい、帽子、手袋、ティッシュペーパー、ホイッスル、ストックなど